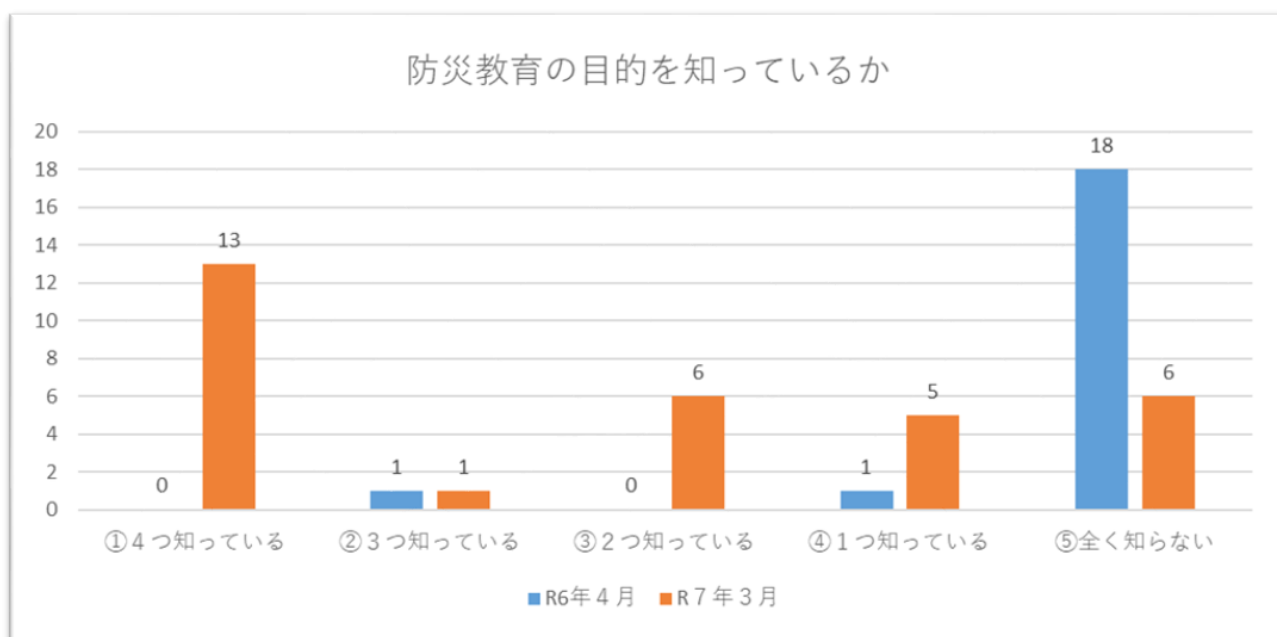


防災教育についての意識調査（職員） 結果

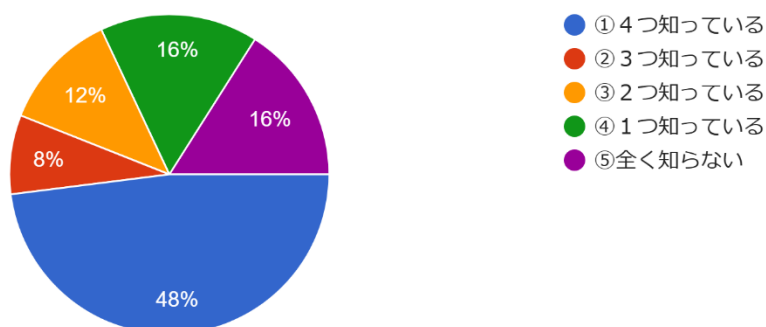
Q1.防災教育の目的として、文部科学省では4つの能力を養うことを挙げています。知っていますか。



文部科学省が示す防災教育の目的としての4つの能力について、令和6年4月には、「3つ知っている」が1人（5%）、「1つ知っている」が1人（5%）、「全く知らない」が18人（90%）とほとんどの教師が知識として理解できていなかった。

令和7年3月には、「4つ知っている」が13人（43.3%）、「3つ知っている」が1人（3.3%）、「2つ知っている」が6人（20%）、「1つ知っている」が5人（16.7%）、「全く知らない」が6人（20%）であった。1年間で「1つ以上知っている」教師の割合が増え、「4つ知っている」教師の割合も4割超と増えている。「全く知らない」と回答した6人（20%）の教師が4つの能力を知識として身に付けていくことが課題である。

1 防災教育の目的として、文部科学省では4つ...力を養うことを挙げています。知っていますか。
25 件の回答

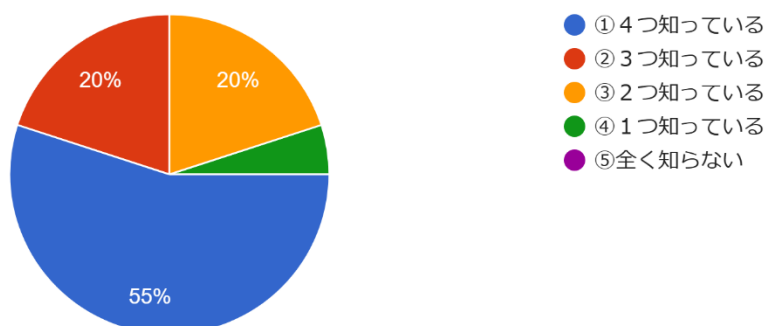


R7.6

文部科学省が示す防災教育の目的としての4つの能力について、「4つ知っている」が12人(48.0%)、「3つ知っている」が2人(8.0%)、「2つ知っている」が3人(12.0%)、「1つ知っている」が4人(16.6%)、「全く知らない」が4人(16.0%)だった。

過去2回と比較すると、「4つ知っている」と回答した職員が最多(約半数)だった。ただし、「全く知らない」と回答した職員も4人おり、認知度に差が見られることがわかる。異動してきた職員もいるため、「全く知らない」と回答した職員が4つの能力を知識として身に付けていくことが課題である。

1 防災教育の目的として、文部科学省では4つ...力を養うことを挙げています。知っていますか。
20 件の回答

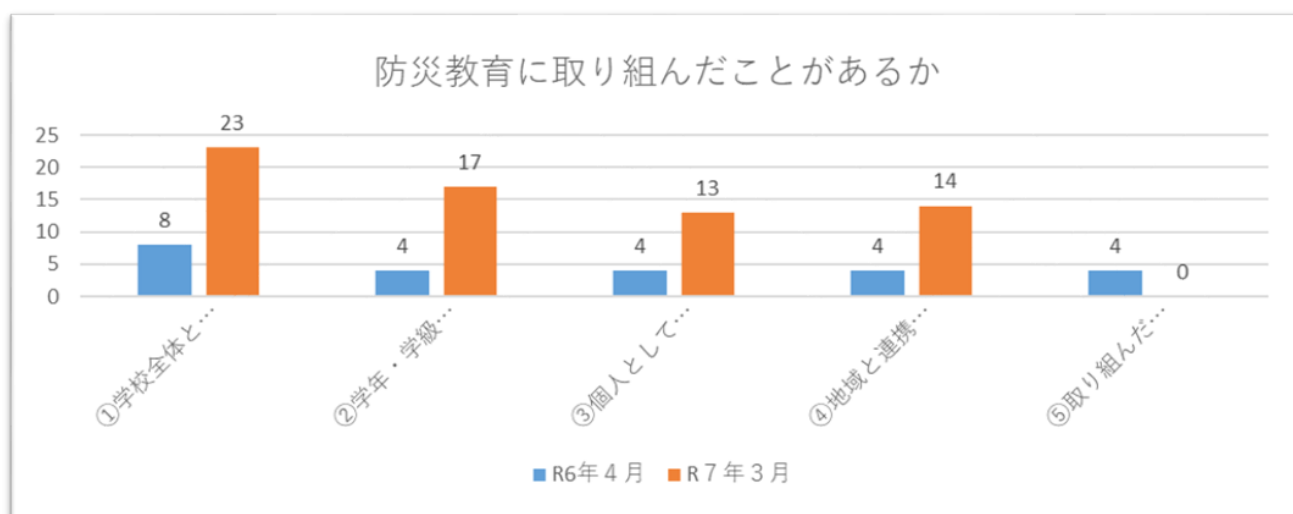


R7.9

文部科学省が示す防災教育の目的としての4つの能力について、「4つ知っている」が11人(55.0%)、「3つ知っている」が4人(20.0%)、「2つ知っている」が4人(20.0%)、「1つ知っている」が1人(5.0%)、「全く知らない」が0人(0.0%)だった。

前回までと比較すると、「全く知らない」と回答した職員が0人になり、「2～4つ知っている」と回答した職員が増えた。このことから、防災教育を行う中で、4つの能力を知識として身に付けてきたことがわかる。4つの能力について職員間で目的共有をして、十分理解することが課題である。

Q2.これまでに防災教育に取り組んだことがありますか。(複数回答可)

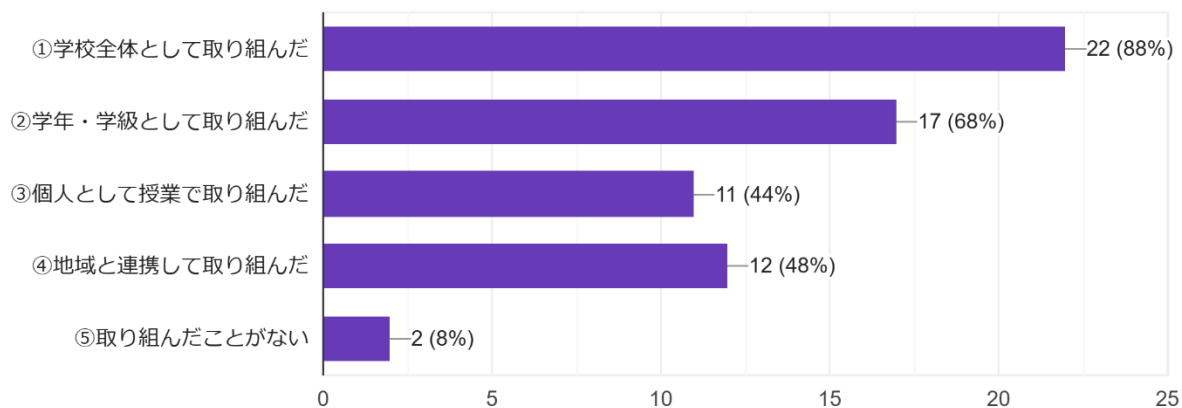


令和6年の4月には、「学校全体として取り組んだ」教師が8人（40％）であり、「学年・学級で取り組んだ」、「個人として取り組んだ」、「地域と連携して取り組んだ」については、いずれも4人（20％）であった。また、「取り組んだことがない」と答えた教師も4人（20％）いた。何らかの防災教育に取り組んだことがある教師と意識して取り組んだことがない教師がいることが分かった。

令和7年の3月には、「学校全体として取り組んだ」教師が23人（76.7％）、「学年・学級として取り組んだ」17人（56.7％）、「地域と連携して取り組んだ」14人（46.7％）、「個人として取り組んだ」13人（43.3％）の順に取り組んだことがある教師が増えていた。「取り組んだことがない」と答えた教師はいなかった。

2 これまでに防災教育に取り組んだことがありますか。（複数回答可）

25 件の回答



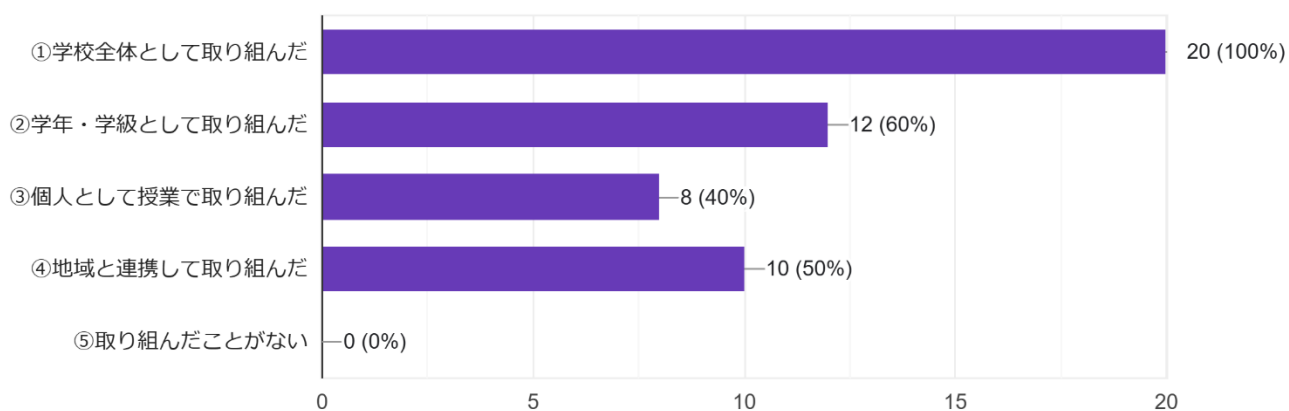
R7.6

「学校全体として取り組んだ」は 22 人（88.0%）、「学年・学級で取り組んだ」は 17 人（68.0%）、「地域と連携して取り組んだ」12 人（48.0%）、「個人として取り組んだ」は 11 人（44.0%）だった。また、「取り組んだことがない」と答えた職員も 2 人（8.0%）おり、意識して取り組んだことがない職員がいることが分かった。

過去 2 回と比較すると、「学校全体として取り組んだ」と回答した割合が増えている。「学校全体」や「学年・学級」としての取組が多く、組織的に行われている傾向が見られる。

2 これまでに防災教育に取り組んだことがありますか。（複数回答可）

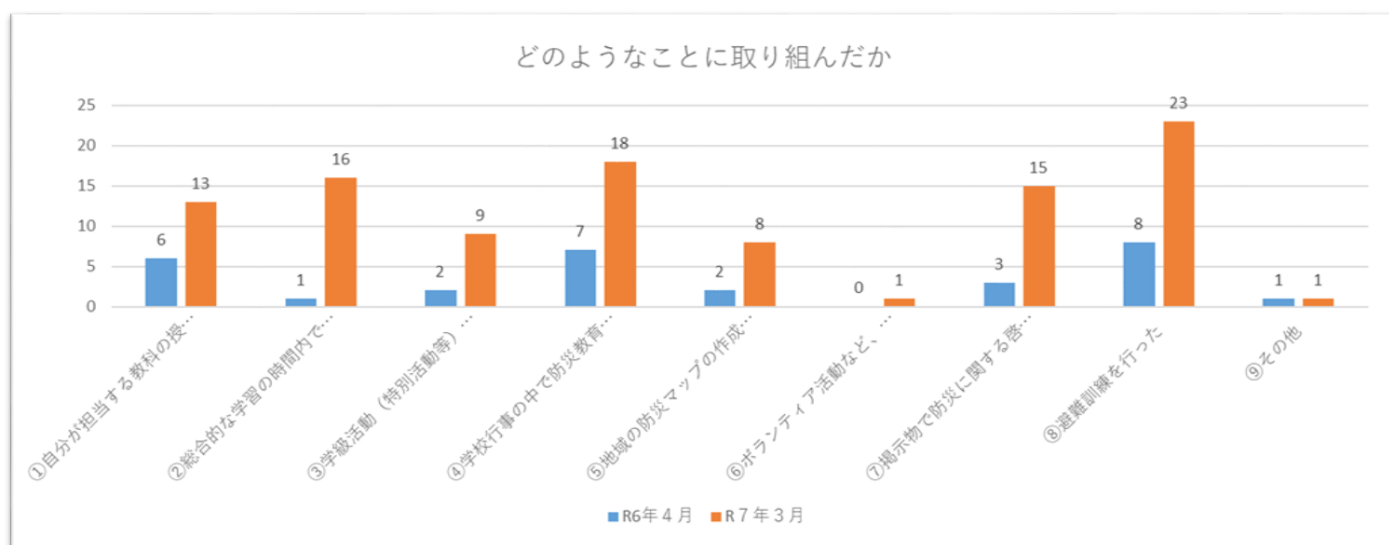
20 件の回答



R7.9

「学校全体として取り組んだ」は 20 人（100.0%）、「学年・学級で取り組んだ」は 12 人（60.0%）、「地域と連携して取り組んだ」10 人（50.0%）、「個人として取り組んだ」は 8 人（40.0%）だった。前回までと比較すると、「学校全体として取り組んだ」と全員が回答しており、学校全体で防災教育に取り組んでいるという意識の向上が見られる。

Q2-(1).2で①～④を選んだ方にお尋ねします。どのようなことに取り組みましたか。(複数回答可)

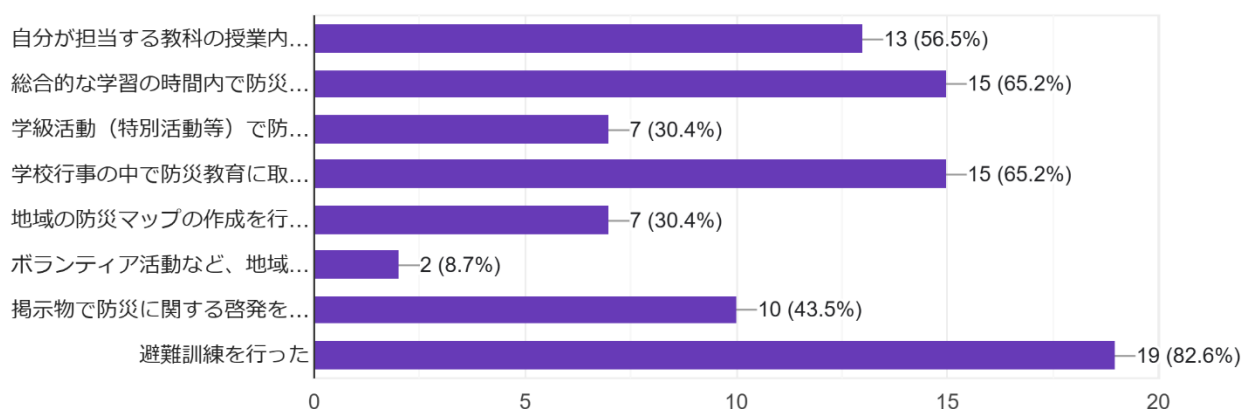


令和6年4月に「取り組んだことがある」と答えた15人のうち、「避難訓練を行った」教師が8人(53.3%)、「学校行事の中で防災教育に取り組んだ(避難訓練以外)」が7人(46.7%)、「自分が担当する教科の授業内で防災に関わる内容を取り入れた」が6人(40%)、「掲示物で防災に関する啓発を行った」が3人(20%)、それ以外は2人以下であった。「その他」の1人(6.7%)は「校内研修でマイタイムライン作成の研修を行った」と答えていた。教科等で取り組まれたのは、道徳、家庭、理科、社会、保健体育であった。

令和7年3月に「取り組んだことがある」と答えた教師30人のうち、「避難訓練を行った」教師が23人(76.7%)、「学校行事の中で防災教育に取り組んだ(避難訓練以外)」が18人(60%)、「総合的な学習の時間内で防災に関わる内容を取り入れた」が16人(53.3%)、「掲示物で防災に関する啓発を行った」が15人(50%)、「自分が担当する教科の授業内で防災に関わる内容を取り入れた」が13人(43.3%)、「学級活動(特別活動等)で防災に関わる内容を取り入れた」が9人(30%)、「地域の防災マップの作成を行った」が8人(26.7%)、「ボランティア活動など、地域の安全に寄与する活動を行った」が1人(3.3%)であった。「その他」の1人(3.3%)は、「校内研修で防災について学んだ」と答えていた。教科等で取り組まれたのは、自立活動、国語、道徳、学活、理科であった。

(2) - 1 どのようなことに取り組みましたか。(複数回答可)

23 件の回答



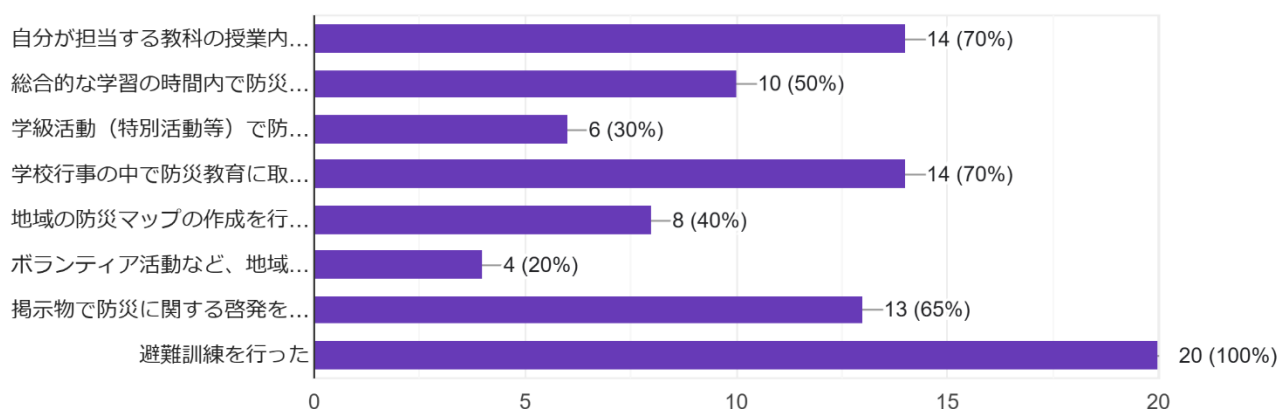
R7.6

「取り組んだことがある」と答えた 23 人のうち、「避難訓練を行った」が 19 人（82.6%）、「総合的な学習の時間内で防災に関わる内容を取り入れた」、「学校行事の中で防災教育に取り組んだ（避難訓練以外）」が 15 人（65.2%）、「自分が担当する教科の授業内で防災に関わる内容を取り入れた」が 13 人（56.5%）、「掲示物で防災に関する啓発を行った」が 10 人（43.5%）、「学級活動（特別活動等）で防災に関わる内容を取り入れた」、「地域の防災マップの作成を行った」が 7 人（30.4%）だった。教科等で取り組まれたのは、国語、社会、理科、生活、道徳、美術、家庭科、保健体育、自立活動であった。

過去 2 回と比較すると、総合的な学習や各教科で防災に関わる内容を取り入れた割合が増えていることがわかる。各教科で防災教育が導入可能であることが示唆されたが、授業の実施には工夫が必要である。

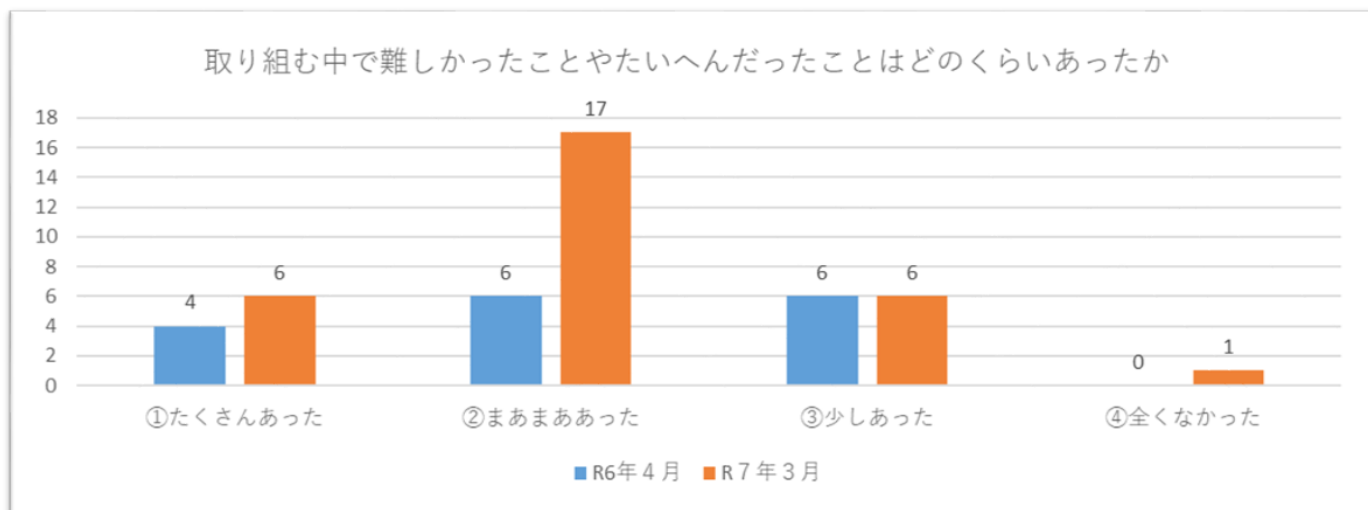
(2) - 1 どのようなことに取り組みましたか。(複数回答可)

20 件の回答



「取り組んだことがある」と答えた 20 人のうち、「避難訓練を行った」が 20 人(100.0%)、「自分が担当する教科の授業内で防災に関わる内容を取り入れた」、「学校行事の中で防災教育に取り組んだ(避難訓練以外)」が 14 人(70.0%)、「掲示物で防災に関する啓発を行った」が 13 人(65.0%)、「総合的な学習の時間内で防災に関わる内容を取り入れた」が 10 人(50.0%)、「地域の防災マップの作成を行った」が 8 人(40.0%)、「学級活動(特別活動等)で防災に関わる内容を取り入れた」が 6 人(30.0%)、「ボランティア活動など、地域の安全に寄与する活動を行った」が 4 人(20.0%)だった。教科等で取り組まれたのは、道徳(6)、自立活動(3)、国語(2)、社会(2)、理科(2)、生活(2)、保健体育(2)、美術(1)、家庭科(1)、数学(1)、生活単元学習(1)などであった。前回までと比較すると、各教科で防災に関する内容を取り入れた授業が増えたことがわかる。その教科も幅広くなっており、教科横断的な学習が展開されつつあることがわかる。

Q2-(2).2で①～④を選んだ方にお尋ねします。防災教育に取り組む中で、難しかったことや大変だったことはどのくらいありましたか。

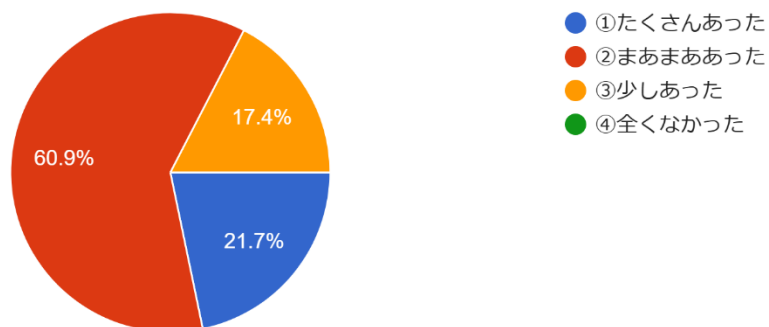


令和6年4月に「取り組んだことがある」と答えた15人のうち、「まあまああった」「少しあった」と答えた教師がいずれも6人（40%）、「たくさんあった」が4人（26.7%）、「全くなかった」と答えた教師はいなかった。

令和7年3月に「取り組んだことがある」と答えた教師30人のうちでは、「まあまああった」と答えた教師が一番多く17人（56.7%）、「たくさんあった」と「少しあった」がいずれも6人（20%）であった。「全くなかった」と答えた教師が1人（3.3%）いた。

防災教育に取り組む中で難しさや大変さを感じている教師は、29人（96.7%）であった。

2－（2） 防災教育に取り組む中で、難しかった...とや大変だったことはどのくらいありましたか。
23 件の回答

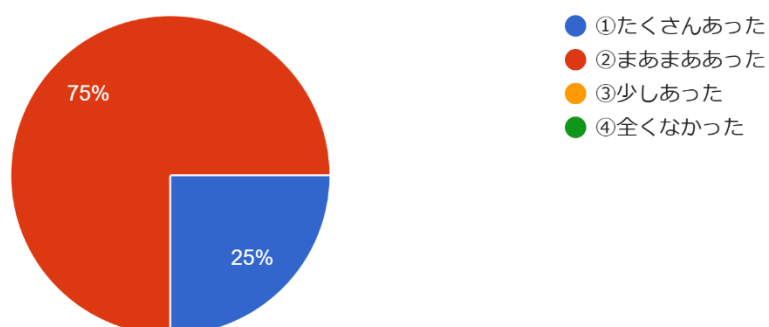


R7.6

「取り組んだことがある」と答えた 23 人のうち、「まあまああった」が 14 人（60.9%）、「たくさんあった」が 5 人（21.7%）、「少しあった」が 4 人（17.4%）であり、「全くなかった」と回答した職員はいなかった。

防災教育に取り組む中で難しさや大変さを感じている教師は、23 人全員（100.0%）であった。過去 2 回と比較すると、「まあまああった」の割合が増えており、防災教育の取組を進める中で、難しさや大変さが出てきたことがわかる。

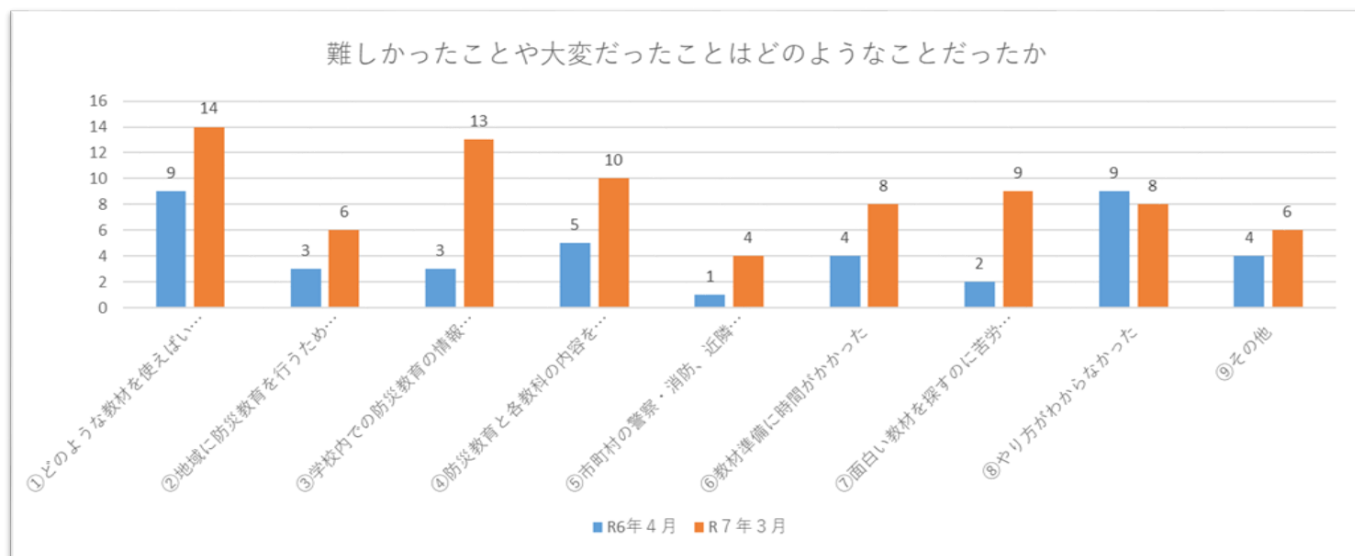
2－（2） 防災教育に取り組む中で、難しかった...とや大変だったことはどのくらいありましたか。
20 件の回答



R7.9

「取り組んだことがある」と答えた 20 人のうち、「まあまああった」が 15 人（75.0%）、「たくさんあった」が 5 人（25.0%）であり、「少しあった」「全くなかった」と回答した職員はいなかった。前回までと比較すると、「まあまああった」の割合が増えており、全員が「まあまああった」や「たくさんあった」と回答している。防災教育の取組を進める中で、難しさや大変さが増えてきたことがわかる。防災教育を推進する上で、一定の負担感があると言える。

Q2-(3).2-(2)で①～③を選んだ方にお尋ねします。難しかったことや大変だったことはどのようなことでしたか？

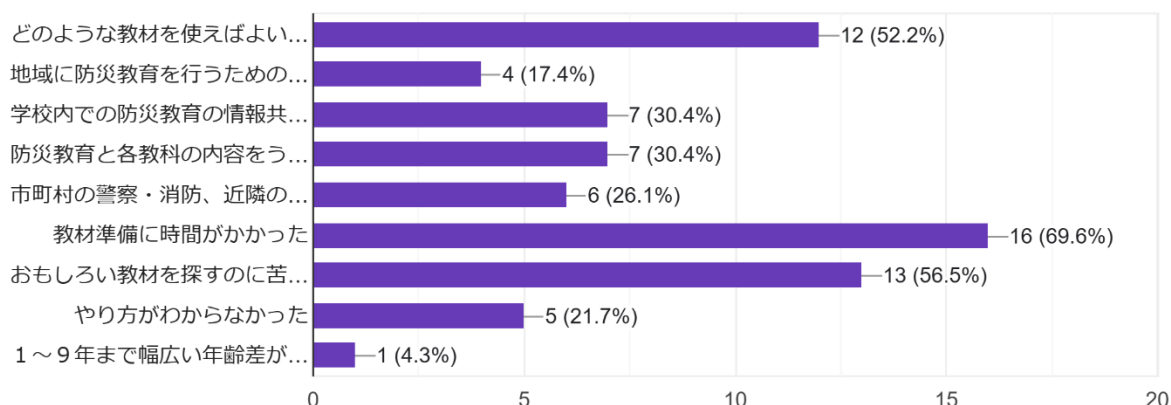


令和6年4月に「取り組んだことがある」と答えた15人のうち、「どのような教材を使えばいいのかわからなかった」、「やり方がわからなかった」と答えた教師がそれぞれ9人（60％）で一番多く、次に「防災教育と各教科の内容をうまく繋げることに苦労した」が5人（33.3％）、「教材準備に時間がかかった」と「その他」が4人（26.7％）であった。

令和7年3月に「取り組んだことがある」と答えた30人のうち、「どのような教材を使えばいいのかわからなかった」と答えた教師が14人（46.7％）、「学校内での防災教育の情報共有を行うのに苦労した」13人（43.3％）、「防災教育と各教科の内容をうまく繋げることに苦労した」10人（33.3％）、「おもしろい教材を探すのに苦労した」9人（30％）、「教材準備に時間がかかった」と「やり方がわからなかった」が8人（26.7％）であった。「その他」と答えた教師は6人（20％）いた。

2 - (3) 難しかったことや大変だったことはどのようなことでしたか。(複数回答可)

23 件の回答

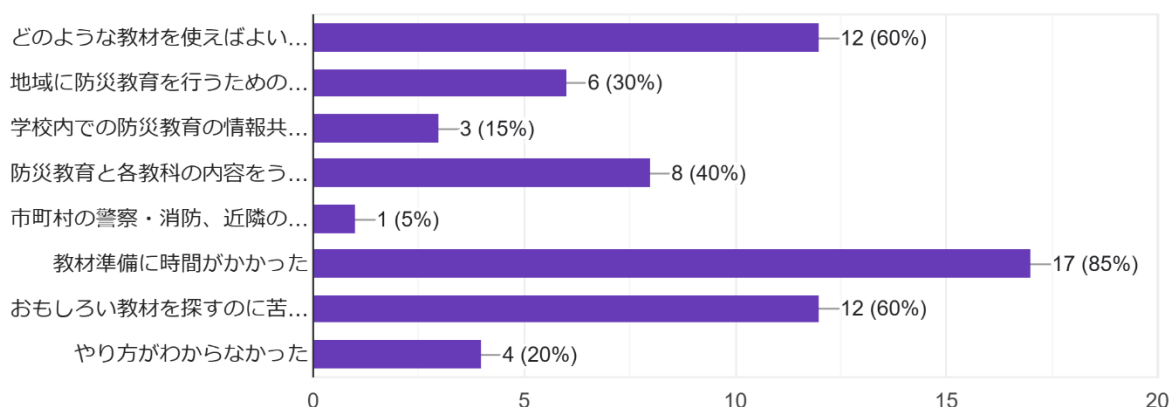


R7.6

「取り組んだことがある」と答えた 23 人のうち、「教材準備に時間がかかった」が 16 人 (69.6%)、「おもしろい教材を探すのに苦労した」が 13 人 (56.5%)、「どのような教材を使えばいいのかわからなかった」が 12 人 (52.2%)、「防災教育と各教科の内容をうまく繋げることに苦労した」、「学校内での防災教育の情報共有を行うのに苦労した」がいずれも 7 人 (30.4%)、「市町村の警察・消防、近隣の大学・研究機関と連携を図る」が 6 人 (26.1%)、「やり方がわからなかった」が 5 人 (21.7%)、その他が 1 人 (4.3%) だった。

過去 2 回と比較すると、最初は「やり方がわからなかった」や「どのような教材を使えばいいのかわからなかった」の回答が多かったが、取組を進めていく中で、教材の具体的な内容についての大変さや難しさ（「教材準備に時間がかかった」や「おもしろい教材を探すのに苦労した」）が増えてきたことがわかる。

2 - (3) 難しかったことや大変だったことはどのようなことでしたか。(複数回答可)
20 件の回答



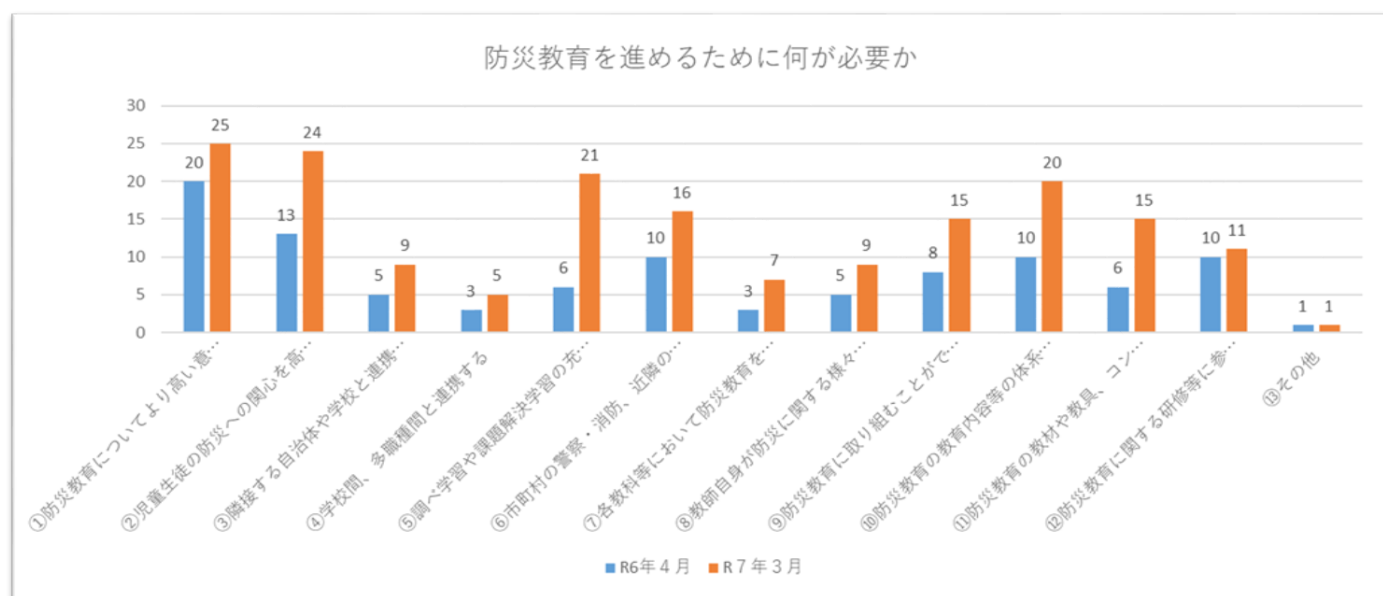
R7.9

「取り組んだことがある」と答えた 20 人のうち、「教材準備に時間がかかった」が 17 人（85.0%）、「おもしろい教材を探すのに苦労した」、「どのような教材を使えばいいのかわからなかった」が 12 人（60.0%）、「防災教育と各教科の内容をうまく繋げることに苦労した」が 8 人（40.0%）、「地域に防災教育を行うためのよい資材や教材がなかった」が 6 人（30.0%）、「やり方がわからなかった」が 4 人（20.0%）、「学校内での防災教育の情報共有を行うのに苦労した」が 3 人（15.0%）、「市町村の警察・消防、近隣の大学・研究機関と連携を図る」が 1 人（5.01%）だった。

前回までと比較すると、最初は「やり方がわからなかった」や「どのような教材を使えばいいのかわからなかった」の回答が多かったが、取組を進めていく中で、教材の具体的な内容についての大変さや難しさが増えてきたことがわかる。傾向としては前回（R7.6）とあまり変化はない。

主な課題は以下の 3 点である。1. 教材面の課題（不足・選定の難しさ）。2. 時間的負担（教材準備に時間がかかる）。3. 教科内容との関連づけの難しさ。

Q3.今後、防災教育を進めるために何が必要だと考えますか。(複数回答可)

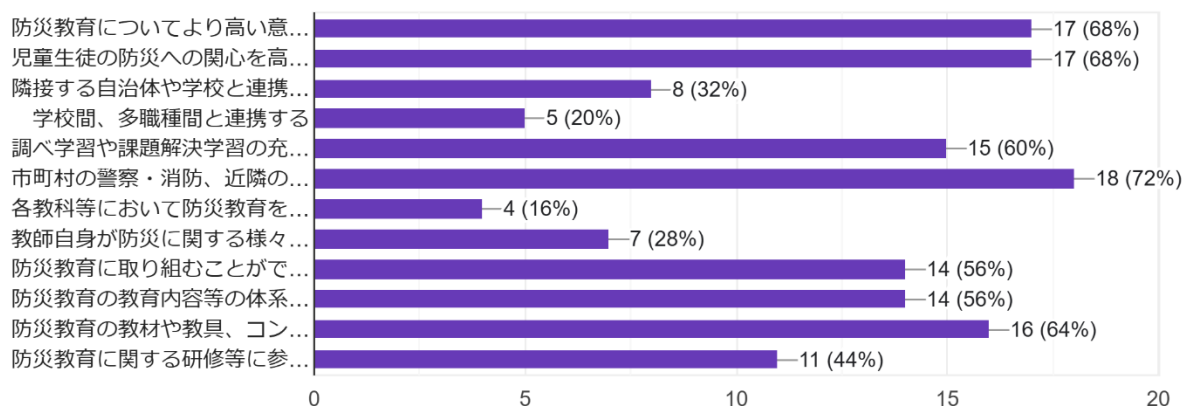


令和6年4月は、「防災教育についてより高い意識を持つ」と答えた教師が、20人（100%）、「児童生徒の防災への関心を高める」13人（65%）、ついで「市町村の警察・消防、近隣の大学・研究機関との連携を図る」「防災教育の教育内容等の体系化を図る」「防災教育に関する研修等に参加する」がそれぞれ10人（50%）であった。

令和7年3月は、「防災教育についてより高い意識を持つ」と答えた教師が、25人（83.3%）、「児童生徒の防災への関心を高める」24人（80%）、「調べ学習や課題解決学習の充実を図る」21人（70%）、防災教育の教育内容等の体系化を図る」20人（66.7%）の順に多かった。さらに、「市町村の警察・消防、近隣の大学・研究機関と連携を図る」が16人（53.3%）、「防災教育に取り組むことができる環境をつくる」と「防災教育の教材や教具、コンテンツをつくる」がそれぞれ15人（50%）であった。

3 今後、防災教育を進めるために何が必要だと考えますか。（複数回答可）

25 件の回答



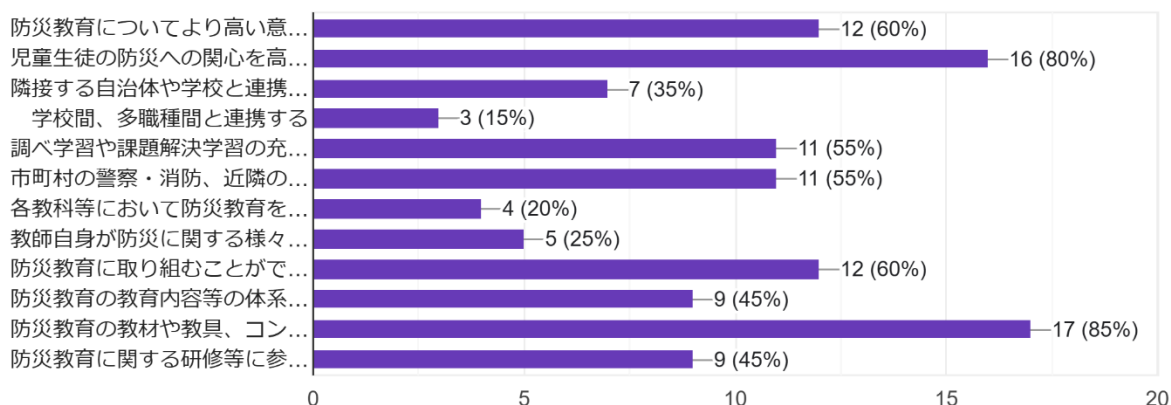
R7.6

令和7年6月は、「市町村の警察・消防、近隣の大学・研究機関との連携を図る」が18人（72.0%）、
「防災教育についてより高い意識を持つ」、「児童生徒の防災への関心を高める」が17人（68.0%）、
「防災教育の教材や教具、コンテンツをつくる」が16人（64.0%）、
「調べ学習や課題解決学習の充実を図る」が15人（60.0%）、
「防災教育に取り組むことができる環境をつくる」、「防災教育の教育内容等の体系化を図る」が14人（56.0%）、
「防災教育に関する研修等に参加する」が11人（44.0%）であった。

過去2回と比較すると、外部との連携に必要性を感じる割合が増えてきた。また、よりたくさんの選択肢を選ぶ教師が増えており、防災教育の取組を進める中で、意識が変容してきたことがわかる。教員の支援体制、教材の整備、外部との連携の強化が求められている。

3 今後、防災教育を進めるために何が必要だと考えますか。（複数回答可）

20 件の回答



R7.9

令和7年9月は、「防災教育の教材や教具、コンテンツをつくる」が17人（85.0%）、「児童生徒の防災への関心を高める」が16人（80.0%）、「防災教育についてより高い意識を持つ」、「防災教育に取り組むことができる環境をつくる」が12人（60.0%）、「市町村の警察・消防、近隣の大学・研究機関との連携を図る」、「調べ学習や課題解決学習の充実を図る」が11人（55.0%）、「防災教育の教育内容等の体系化を図る」、「防災教育に関する研修等に参加する」が9人（45.0%）であった。

前回までと比較すると、防災教育の教材や教具、コンテンツをつくる」と回答した割合が増えており、防災教育の取組（特に授業内での取組）を進める中で、意識が変容してきたことがわかる。今後求められることとして、以下の3点が挙げられる。1. 教材・コンテンツの充実。2. 防災教育を楽しく学べる工夫。3. 外部機関との協働による実践支援。

【総合まとめ】 R7.9

観点	現状	改善・支援の方向性
防災教育の理解度	半数が部分的理解	職員研修や目的の再共有
取組み形態	学校全体中心	個人・学級単位の自主的活動促進
教材面の課題	準備負担・不足・選定の難しさ	教材バンク・共有サイトの整備
今後のニーズ	教材整備・児童生徒の関心向上	体験型教材や地域連携イベント推進